第53回弘明寺サロン開催記

「ぶらり散歩東海道・戸塚宿」

日時:平成29年4月6日(木) 10:00~14:30

集合:JR戸塚駅

参加者:22名

案内·解説:佐桒愼二 放送大学神奈川同窓会会長

佐乗さんが続けられている「ぶらり散歩東海道」を今回は弘明寺サロンとして開催し、案内と解説をしていただいて戸塚宿周辺を探訪しました。当日は好天に恵まれ、春らしい日差しと風のなか、濱田先生や新入会員の方にもご参加いただき総勢 22 名で歴史散歩を楽しみました。

戸塚宿があったのは、東の江戸見附と西の上方見附に挟まれた 2.3 キロの範囲で、現在も 戸塚区の中心地として賑わっている所だそうです。江戸時代が今に繋がっていることを実感 します。

訪れた順と主な特徴は次のとおりです。

「高松寺」(臨済宗、630年以上前の創建、鐘楼門、なで仏) 「澤邊本陣跡」(戸塚宿に二つあった本陣のうちの一つ)

「羽黒神社」(澤邊家守り神)

「海蔵院」(臨済宗、山門に左甚五郎作と伝えられる龍の彫刻) 「八坂神社」(江戸時代から伝わる「お札まき」が行われる) 「富塚八幡宮」(ここより戸塚の名称が発祥したと伝えられる)

「親縁寺」(時宗)

「上方見附跡」 → 大坂(長い登り坂)

「お軽勘平・戸塚山中道行の碑」

「浅間神社」(富士信仰、樹齢 600 年の椎の大木)

「大運寺」(浄土宗) →(バス)→ 戸塚駅

これらの詳しい紹介文を佐乗さんがまとめられていて、同窓会ホームページの「会員投稿コーナー」(平成 28 年 10 月 18 日付)に掲載されていますのでぜひご覧ください。

「高松寺」では、境内に「なで仏」(おびんずる様)があり、「念ずるところをなでる」との説明で頭などの色が変わっていました。

「海蔵院」では、山門が改修中で、左甚五郎作と伝えられる龍の彫刻は残 念ながら観ることができませんでした。改修完了は10月頃だそうです。



海蔵院本堂

上方見附跡

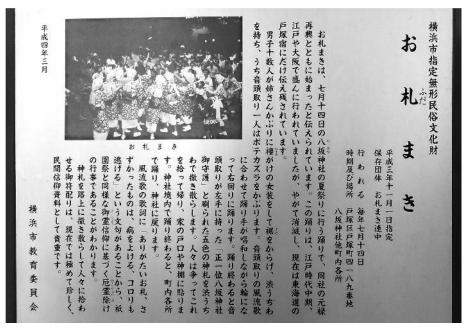
「八坂神社」では、毎年7月14日に男性十数人が女装して五色のお札を撒きながら踊る「お札まき」が行われるそうです。境内はそれほど広くないと思っていましたら、地元参加の方から「お札まきは戸塚駅からも練り歩いてお札を撒くので、子供達もお札をもらうのを楽し



高松寺なで仏

みにしている」と教えていただきました。地元に根付いて広く親しまれ、伝統行事が受け継 がれているのだとわかりました。

「お軽勘平・戸塚山中道行の碑」は、事前に DVD を鑑賞したことで興味深く観ました。





富塚八幡宮

八坂神社のお札まき



親縁寺にて



お軽勘平の碑前にて

散策の途中、参加者の皆さんからご感想をいただきました。「みんなと一緒にぶらりと歩 きながら巡るのはとても楽しい」「一人ではなかなか行けない所にも案内してもらえるので ありがたい」等々。佐桒さんの「ぶらり散歩東海道」はこれからも続けられるそうですので ぜひご参加ください。

戸塚駅で解散後希望者で柏尾川のお花見も楽しみ、戸塚宿を満喫した一日でした。(高垣記)



浅間神社にて



柏尾川桜並木